

第39回 岡山戦災の記録と写真展

— 空襲とわたしのまち岡山 —



1



2



3



4

①現在の県庁通り東端あたりから西を見る
④現在の県庁通り東端あたりから西を見る

②旧岡山市公会堂
※①は2016年(平成28)

③旧岡山城外下馬門(現在の岡山県立図書館内)
②③④は1945年(昭和20)に矢延 眞一郎が撮影。

会期 平成28年6月10日(金)～30日(木)

会場 岡山シティミュージアム 4階展示室・5階岡山空襲展示室
TEL 086-898-3000

休館日 毎週月曜日(6月13日、20日、27日)

開館時間 午前10時～午後6時 入館は午後5時30分まで

入場無料

記念講演会「民話の中の戦争」

講師／日本民話の会会長 立石憲利さん
日時／平成28年6月25日(土) 午後1時30分～3時
会場／岡山シティミュージアム 4階 講義室
定員／80名(先着順) 聴講無料

展示解説

会期中の金・土・日曜日の午後2時から
学芸員による展示解説を行います。
*6月25日(土)は、午前11時から

EXHIBITION
ROOM OF
THE
OKAYAMA
AIR RAIDS

岡山空襲展示室

主催／岡山市

共催／岡山市教育委員会

第39回 岡山戦災の記録と写真展 - 空襲とわたしのまち岡山 -

1978年（昭和53）に始まった「岡山戦災の記録と写真展」も今年で39回目となりました。岡山空襲が行われた1945年（昭和20）6月29日から70余年が経過しましたが、私たちの暮らす岡山市は、かつて、空襲により一面が焦土と化したことを忘れてはなりません。一方で、戦争を語ることでできる体験者の方は年を追うごとに少なくなっており、戦災資料も限られたものとなってきています。

今の平和な暮らしは、戦災や戦争による様々な困難に直面しながらも、岡山の未来のためにと奮闘された多くの人々の手によって得られたものです。

過去の「戦争の悲惨さ」を後世へ伝え、未来へのさらなる発展のため「平和の尊さ」への思いを新たにするため、私たちの住む岡山が受けた岡山空襲の詳細や空襲当時の世の中の様子、そして、これらの困難に市民の方々がどう立ち向かい、また、どのようにこれらを伝えようとしてきたのかということについて、市民の方からいただいた貴重な証言と寄贈資料を中心にご紹介いたします。

岡山空襲について

1944年（昭和19）から翌年にかけて、日本全土において市街地を対象とした空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年（昭和20）6月29日に大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人*の死者が出ました。

（*2000人をこえるという説もあります。）

記念講演会「民話の中の戦争」 講師 立石憲利さん

長く続いた戦争中、戦争にかり出される男性たちはもちろんのこと、その家族にも容赦なく厳しい暮らしがありました。戦争協力のための厳しい労働、不足する物資、そして身近な人の死傷。こうした中でも、人々は「民話」という形でわずかに自分たちの思いを伝えました。立石さんはこうしたかすかな「声」ともいえる「民話」を長年採録しておられます。岡山の戦争にまつわる民話についてお話ししていただきます。

展示解説

会期中の金・土・日曜日の午後2時から学芸員による展示解説を行います。

*6月25日(土)は、午前11時から



- ① 岡山空襲中の様子を描いたスケッチ
金谷哲郎 1945年（昭和20）
- ② M47焼夷弾（岡山市中区円山に落下したものの）
- ③・④ 富山村国防婦人会の防空演習風景
個人蔵
- ⑤ 「引揚促進」と印刷されたマッチ箱
- ⑥ 「平和 平和日本」と書かれた百円紙幣
- ⑦ 三菱マークのアルミ製食器
- 背景 機銃掃射の様子を描いたスケッチ
金谷哲郎 1945年（昭和20）7月



JR岡山駅から東西連絡通路で直結
岡山市北区駅元町15-1 岡山ラティミュージアム
EXHIBITION ROOM OF THE OKAZAKI AIR RAIDS
岡山空襲展示室
TEL 086-253-7070